

公益財団法人神戸YMCA キャンピングサービスセンター  
新型コロナウイルス感染症流行時における宿泊を伴うプログラム  
参加者ガイドライン(レベル3)

## はじめに

神戸YMCAでは、新型コロナウイルスの影響が今後、様々な形で数ヶ月から数年続くと想定します。

今後の活動自体が感染拡大の温床になることを避けるとともに、キャンプ開催地域の医療キャパシティや感染者数の動向を確認しながら、活動が社会に負荷を与えないように考慮して行う必要があると考えます。

参加をされる皆さまにおかれましては、趣旨をご理解いとお協力をお願いいたします。

## <感染予防対策>

### 1. 前提

1. 新型コロナウイルス感染症におけるキャンプ実施の判断は政府または参加者が居住する地方公共団体、キャンプを実施する現地の地方公共団体のガイドラインに従います。
2. 新型コロナウイルスのワクチンが開発されるまでは当ガイドラインに基づきます。
3. 神戸YMCAキャンピングサービスセンター新型コロナウイルス対策レベル3に相当する対策を行います。(レベル1＝活動自粛、レベル2＝完全なスクリーニング・感染症対策を行った上で実施、レベル3＝十分なスクリーニング・完全な感染症対策を行った上で実施、レベル4＝通常)

### 2. 感染予防理解について

1. 保護者は本ガイドラインについて理解を深め、参加者に対し内容の理解を促してください。

### 3. 参加にあたっての確認事項

参加者が下記に該当する場合、参加をお断りまたは制限させていただくことがあります。

1. プログラム開始日2週間以内に、新型コロナウイルス感染者と濃厚接触がある。
2. 参加者の居住地、隣接する市区町村で過去2週間に市中感染が起こっている。
3. 参加者本人に、健康上の感染リスク(慢性呼吸器疾患、中重度の喘息、すべての免疫不全、肥満(BMI40以上)、糖尿病、腎疾患、肝疾患)がある。

### 4. 以下の事前学習動画を確認し、保護者は参加者に理解を促してください。

1. [「感染症対策:手指衛生とソーシャルディスタンス\(10分\)」](#)
2. [「熱中症理解について\(参加者用 8分\)」](#)
3. [「熱中症理解について\(保護者用 40分\)」](#)

## 5. 参加者の事前自主検疫のお願い

参加前に利用者に対しスクリーニングと自主検疫・自主隔離、健康管理を行うことで活動中の感染リスクを低下させることができます。利用者、スタッフ、地域の感染拡大防止のため以下の項目ご協力ください。

また、自主検疫の効果は参加者及びご家族の責任感と、他の参加者への思いやりによって維持されます。不適切な対応、及び虚偽の報告は他の参加者、そのご家族、医療機関、主催団体に大きなダメージを及ぼすこととご理解ください。

(プログラム参加までの10日以上前より)

### 5-1. 熱中症対策の開始

熱中症対策として熱順化(高温状況に身体が慣れること)するために徐々に屋外での活動を増やし無理のない熱順化を行ってください。熱中症の初期症状と新型コロナウイルス感染症の症状は重なります。熱順化してから参加するので熱中症のリスクが軽減されます。

(プログラム参加前の7日前より)

### 5-2. 自主検疫の実施

毎朝体温の測定と健康チェックを行ってください。

※新型コロナウイルス感染症特有の症状は以下の通りです。

味覚臭覚障害、吐き気、嘔吐、下痢、腹痛、喉の痛み、空咳、鼻水、鼻詰まり、目の充血、腹部/脚部の発疹、呼吸困難(息切れ)、悪寒、頭痛、関節痛、筋肉痛

### 5-3. 自主隔離

本人、また同居するご家族は可能な限り感染リスクの高い行動は避け、所属する団体や居住する地方公共団体のガイドラインに沿って生活してください。

(プログラム当日)

### 5-4. 移動

公共交通機関を利用する場合はできる限り混雑時を避け、マスクを着用し移動中は飲食を控えてください。つり革やドアノブ等に接触した場合はこまめに手指消毒を行ってください。

また消化管からの感染も報告されていますので、公衆トイレ等を利用した場合は必ず手指消毒を行ってください。

### 5-5. 集合時

感染予防対策(自主検疫等)について確認をさせていただきます。

## 6. 活動中の確認事項

活動中も飛沫感染、接触感染予防のため、以下の項目にご協力ください。

1. 活動中は基本的にマスクを着用するかソーシャルディスタンスを保ってください
2. マスクは熱中症に注意し天候や気温、運動強度に応じて着脱してください。
3. 常に手指衛生を心がけ、特に食事前は手指消毒を必ず行ってください。
4. トイレをしたあとは手を洗淨し、消毒してください。
5. 飲み物や食事は共有しないでください。食器の共有もしないでください。
6. 手指消毒用の消毒剤を持参してください。
7. プログラム参加中にご家族または同居人に新型コロナウイルス感染症検査で陽性が出た場合は直ちに主催団体にご連絡ください。

## 7. 参加後の確認事項

プログラム終了後も参加者、スタッフ、地域の感染拡大防止のため以下の項目ご協力ください。

1. プログラム最終日から7日間の自主検疫を実施してください。
2. 37.5℃以上の熱、または感染症の諸症状が出た場合は医療機関に相談し、必要に応じて新型コロナウイルス感染症の検査を行ってください。
3. 新型コロナウイルス感染症の検査をし、陽性だった場合は直ちに当施設へご連絡ください。

## 8. 施設管理について

利用する施設管理団体の感染症対策を事前に確認し、以下の様な対策を行います。

### 1. 消毒について

共用部(食堂、トイレ、浴室、研修室等)は1日1回以上の消毒を行います。

### 2. 換気について

可能な限り継続的な換気を行います。

### 3. 食事・食堂について

3-1. 指定された定員に準じ、小グループ毎に利用します。

3-2. 利用する施設のガイドラインに沿った感染症対策を講じた食事の提供を受けません。その際、一部の食事が弁当になることもあります。

3-3. 神戸YMCAの施設での食事の提供は加熱調理したもの、加工調理されたもの、または個別に包装されたものを提供します。

昼食は原則、弁当での提供となります。

### 4. 入浴について

室内に風呂がある場合は部屋風呂を利用します。

共同浴場ご利用の場合は指定された定員に準じて利用します。

### 5. 宿舎(キャビン)について

原則定員の半分までの利用とします。

## 9. プログラムについて

1. 全てのプログラムは感染症対策を講じて行います。
2. 体調不良時は参加できません。
3. 感染症対策に影響が出ないように余裕を持ってプログラムを計画します。
4. 食品や食器を共有する野外料理は原則として行いません。

## 10. 緊急時の対応について

1. 全ての傷病者に対し、新型コロナウイルス感染症に感染しているとして接します。

2. 救助者は必要に応じて感染予防具を着用します。  
(マスク、フェイスシールド、手袋、エプロン、ガウン、帽子等)
3. 救助者から傷病者へ新型コロナウイルス感染症が感染するリスクがあります。
4. 心肺停止時のCPRについて感染予防の観点から神戸YMCAでは人工呼吸を推奨していません。
5. 施設最寄りの病院、保健所に予め確認はしていますが新型コロナウイルスの影響により通常通り受診できない場合があります。ご了承ください。

#### 11. プログラム中止について

以下の条件が当てはまる場合はプログラムを中止することがあります。

1. プログラム開催地の所在する市町村から利用施設の営業自粛の要請があった場合
2. 利用開始日より過去2週間以内に利用施設の所在する市町村から市中感染が起こった場合
3. 利用施設の所在する市町村の医療キャパシティが逼迫している場合
4. 利用予定施設から新型コロナウイルス感染症検査で陽性判定が出た場合は消毒が完了までの期間
5. 施設利用中に施設利用者から新型コロナウイルス感染症検査で陽性判定が出た場合
6. 万が一、プログラム中に参加者または指導者のご家族または同居人に新型コロナウイルス感染症検査で陽性が出た場合